

第3回群馬県メンテナンス協議会

日 時：平成26年11月6日（木）
10:00～12:00
場 所：群馬建設会館Aホール
（前橋市元総社町2-5-3）

議事次第

1. 開 会
2. あいさつ（会長）
3. 議事
 - （1）これまでの動き
 - （2）道路橋の点検計画について
 - （3）鉄道事業者との協議状況について
 - （4）その他
4. 閉 会

これまでの動き

第1回協議会からのメンテナンスに係わる動き

平成26年3月18日 第1回群馬県メンテナンス協議会開催

平成26年4月14日 社会資本整備審議会道路分科会建議
「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」

〔道路メンテナンス総力戦【第1弾】〕

平成26年6月23日 群馬県メンテナンス協議会から群馬県内の市町村に
対し「道路施設の管理に関する支援要望につ
いて」依頼文を発出

【P1 参照】

平成26年6月25日 定期点検要領を策定

- ・道路橋定期点検要領
- ・道路トンネル定期点検要領
- ・シート、大型カバー等定期点検要領
- ・横断歩道橋定期点検要領
- ・門型標識等定期点検要領

平成26年7月1日 維持修繕に関する省令・告示施行

[国土交通省令]

- ・道路の維持又は修繕に関する技術的基準類

[告示]

- ・トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示

平成26年7月22日 定期点検要領等説明会開催（国土交通本省）

〔道路メンテナンス総力戦【第3弾】〕

平成26年7月24日 第2回群馬県メンテナンス協議会の調整結果

【P2～4 参照】

〔道路メンテナンス総力戦【第2弾】〕

平成26年7月28日 点検要領等に関する道路施設点検技術講習会
開催（群馬県メンテナンス協議会）

【P5 参照】

平成26年8月29日 国土交通省道路局から各道路管理者に対し
「点検計画の策定について」依頼文を发出

〔道路メンテナンス総力戦【第4弾】〕

平成26年9月4日 道路橋の維持修繕に関する講習会開催

（群馬県メンテナンス協議会）

※講師：国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路構造物研究部 橋梁研究室長

玉越 隆史

【P6 参照】

〔道路メンテナンス総力戦【第5弾】〕

平成26年9月11日 報道関係者等を対象とした現場見学会を開催
（群馬県メンテナンス協議会）

※みなかみ町長等による課題の説明など

【P7 参照】

平成26年9月12日 群馬県メンテナンス協議会長から群馬県内の市町村
長に対し「点検計画の策定について」依頼文
を发出

記者発表資料

道路メンテナンス総力戦【第1弾】

7月1日からの5年点検本格実施を受け、構成市町村に対し、点検等実施に向けた課題やメンテナンス業務の地域一括発注等について意向を確認します。

3月18日に設立した群馬県メンテナンス協議会（会長：国土交通省高崎河川国道事務所長）では、県内の道路インフラの老朽化対策を効率的・効果的に進めるため、特に土木技術者が少ない市町村に対する支援策を検討しています。

今般、7月1日からの5年点検本格実施を受け、道路メンテナンス総力戦【第1弾】として、構成市町村に対し、点検等の実施に向けた課題や、点検・補修等のメンテナンス業務について地域一括発注等の意向を確認することとしました。

確認結果は、次回の群馬県メンテナンス協議会等で調整を行い、本格的なメンテナンスサイクルを始動します。

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ テレビ記者会
高崎記者クラブ

問合わせ先

群馬県メンテナンス協議会事務局

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000（代）
副 所 長 伏見 利行（ふしみ としゆき） 内線：204
計画課長 中嶋 政幸（なかじま まさゆき） 内線：261

群馬県 県土整備部 道路管理課
住所：群馬県前橋市大千町一丁目1-1 電話：027-223-1111（代）
課 長 上原 幸彦（うえはら ゆきひこ） 内線：3590
次 長 林 賢司（はやし けんじ） 内線：3592

平成26年7月24日(木)
群馬県メンテナンス協議会

国土交通省 高崎河川国道事務所
群馬県
東日本高速道路株式会社5事務所
群馬県内35市町村
公益財団法人群馬県建設技術センター

記者発表資料

道路メンテナンス総力戦【第3弾】 「第2回群馬県メンテナンス協議会」の調整結果について

本日開催した第2回群馬県メンテナンス協議会において、下記の通り調整を実施しましたので、お知らせします。

- ①平成26年度は市町村管理橋梁約1万1千橋のうち、539橋(約5%)で法定に基づく5年に1回の定期点検に着手
・うち、191橋(4市町村)について地域一括発注を行うことにより、技術・体制面の支援をスタート。
年度途中においても、市町村からの要望に柔軟に対応
- ②今後、メンテナンスサイクルを計画的・効率的・効果的に回していくためには、予算や技術者の平準化が必要との意見があり、予算措置や体制面も考慮した5年間の具体的な点検計画を次の協議会で策定
・これまでの群馬県の1橋あたりの点検費用から試算すると、県内市町村の橋梁点検で約40億円(約8億円/年)の継続的な予算措置及びそのための体制確保が必要
- ③鉄道を跨ぐ橋梁点検の調整に時間と労力を要することから、今後、協議会が主体となって鉄道事業者と調整を実施
・建設後年数や点検記録の有無によらず、直ちに点検に着手すべきである緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋、跨線橋等について協議に着手

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ テレビ記者会
高崎記者クラブ

問合わせ先

群馬県メンテナンス協議会事務局

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000(代)
副 所 長 伏見 利行 (ふしみ としゆき) 内線：204
計画課長 中嶋 政幸 (なかじま まさゆき) 内線：261

群馬県 県土整備部 道路管理課
住所：群馬県前橋市大手町一丁目1-1 電話：027-223-1111(代)
課 長 上原 幸彦 (うえはら ゆきひこ) 内線：3590
次 長 林 賢司 (はやし けんじ) 内線：3592

(参考)

【意向確認結果】

1. 支援要望(群馬県内の市町村は35)

要望あり(26市町村、約74%)

1) 支援要望内訳(複数回答あり)

- ・人材不足に係わるもの(20市町村、約57%)
- ・技術力向上に係わるもの(13市町村、約37%)
- ・予算に係わるもの(18市町村、約51%)

2) 一括発注

今後、一括発注を希望する市町村(10市町村、約29%)

【調整結果】

1. 平成26年度

- ・約1万1千橋のうち、539橋で5年に1回の定期点検に着手
うち、191橋(4市町村)を地域一括発注で支援
- ・鉄道を跨ぐ橋梁は、全51橋中11橋(約22%)を鉄道事業者へ委託予定

2. 平成27年度以降

- ・今後メンテナンスサイクルを回すためにも、予算や技術者の平準化が必要であり、予算措置や体制強化も含めた具体的な点検計画を次回の協議会で策定
※これまでの群馬県の1橋あたりの点検費用から試算すると、県内市町村の橋梁点検で約40億円(約8億円/年)の継続的な予算措置及びそのための体制確保が必要

3. 鉄道を跨ぐ橋梁点検

調整に時間と労力を要することから、今後、協議会が主体となって鉄道事業者と調整を実施。なお、東日本旅客鉄道(株)とは既に調整を実施

4. 点検講習会開催

点検業務の質を確保するため、協議会が市町村担当者及び点検を受注する民間企業の技術者向けの点検講習会を7月28日に開催。今後も技術力向上への取り組みを順次充実

5. マスコミ向けの現場見学会開催

道路インフラの老朽化の現状や対策の重要性の理解を促進するため、協議会がマスコミ向けの現場見学会を開催

(参考)

地方公共団体名 (平成26年4月1日時点)		管理橋梁数 (H26.4.1時点)	H26年度点検予定橋梁数 (H26.7時点)		点検率(%) (b)/(a)
都道府県名	市区町村名 (都道府県、 政令市名)		(a)	(b)	
群馬県	前橋市	1302	86	0	7%
群馬県	高崎市	1491	86	0	6%
群馬県	桐生市	511	0	0	
群馬県	伊勢崎市	622	21	0	3%
群馬県	太田市	794	136	136	17%
群馬県	沼田市	308	0	0	
群馬県	館林市	369	10	0	3%
群馬県	渋川市	685	0	0	
群馬県	藤岡市	488	0	0	
群馬県	富岡市	479	0	0	
群馬県	安中市	643	63	0	10%
群馬県	みどり市	164	0	0	
群馬県	榛東村	151	0	0	
群馬県	吉岡町	138	0	0	
群馬県	上野村	157	0	0	
群馬県	神流町	119	0	0	
群馬県	下仁田町	237	0	0	
群馬県	南牧村	154	0	0	
群馬県	日楽町	174	0	0	
群馬県	中之条町	291	21	0	7%
群馬県	長野原町	95	6	6	6%
群馬県	嬭恋村	105	6	0	6%
群馬県	草津町	13	0	0	
群馬県	高山村	98	20	0	20%
群馬県	東吾妻町	269	0	0	
群馬県	片品村	70	0	0	
群馬県	川場村	76	0	0	
群馬県	昭和村	164	0	0	
群馬県	みなかみ町	401	15	15	4%
群馬県	玉村町	109	0	0	
群馬県	板倉町	280	0	0	
群馬県	明和町	153	0	0	
群馬県	千代田町	124	34	34	27%
群馬県	大泉町	62	0	0	
群馬県	邑楽町	156	35	0	22%
市町村計		11452	539	191	5%

※群馬県メンテナンス協議会がH26.7に行った意向調査結果をもとに集計した数値であり、今後、変更する可能性があります

平成26年7月23日(水)
群馬県メンテナンス協議会

国土交通省 高崎河川国道事務所
群馬県
東日本高速道路株式会社5事務所
群馬県内35市町村
公益財団法人群馬県建設技術センター

記者発表資料

道路メンテナンス総力戦【第2弾】 点検要領等に関する道路施設点検技術講習会を開催します。

群馬県メンテナンス協議会では、7月1日から施行された5年点検を統一的な尺度で点検・診断するため、群馬県内の地方公共団体の職員及び担い手となる民間企業の社員等を対象に、点検要領等に関する「道路施設点検技術講習会」を、下記により開催します。

日 時：平成26年7月28日(月) 9:30～16:50
場 所：群馬県公社総合ビル 多目的ホール
前橋市大渡町1-10-7

〔講習会の申込み及び申込みに関する問合せ先〕
公益財団法人群馬県建設技術センター 技術支援係
電話：027-210-8141 FAX：027-251-7484

報道機関の皆様へ

・取材される場合は、7月25日(金)17時まで、下記問い合わせ先に登録願います。

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ テレビ記者会
高崎記者クラブ

問い合わせ先

群馬県メンテナンス協議会事務局

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000(代)
副 所 長 伏見 利行 (ふしみ としゆき) 内線：204
計画課長 中嶋 政幸 (なかじま まさゆき) 内線：261

群馬県 県土整備部 道路管理課
住所：群馬県前橋市大千町一丁目1-1 電話：027-223-1111(代)
課 長 上原 幸彦 (うえはら ゆきひこ) 内線：3590
次 長 林 賢司 (はやし けんじ) 内線：3592

平成26年9月1日(月)
群馬県メンテナンス協議会

国土交通省 高崎河川国道事務所
群馬県
東日本高速道路株式会社5事務所
群馬県内35市町村
公益財団法人群馬県建設技術センター

記者発表資料

道路メンテナンス総力戦【第4弾】 道路橋の維持修繕に関する講習会を開催します。

群馬県メンテナンス協議会では、群馬県内の地方公共団体の職員及び民間企業の社員等を対象に、道路橋の現状と課題、定期点検の概要等に関する講習会を、下記により開催します。

日時：平成26年9月4日(木) 13:30～15:30
場所：群馬建設会館 大ホール
前橋市元総社町2丁目5-3
講師：国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路構造物研究部 橋梁研究室長 玉越 隆史

報道機関の皆様へ

・取材される場合は、9月3日(水) 17時までに、下記問い合わせ先に登録願います。

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ テレビ記者会
高崎記者クラブ

問い合わせ先

群馬県メンテナンス協議会事務局

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000 (代)
副所長 伏見 利行 (ふしみ としゆき) 内線：204
計画課長 中嶋 政幸 (なかじま まさゆき) 内線：261

群馬県 県土整備部 道路管理課
住所：群馬県前橋市大手町一丁目1-1 電話：027-223-1111 (代)
課長 上原 幸彦 (うえはら ゆきひこ) 内線：3590
次長 林 賢司 (はやし けんじ) 内線：3592

平成26年9月5日(金)
群馬県メンテナンス協議会

国土交通省 高崎河川国道事務所
群馬県
東日本高速道路株式会社5事務所
群馬県内35市町村
公益財団法人群馬県建設技術センター

記者発表資料

道路メンテナンス総力戦【第5弾】 報道関係者等を対象とした現場見学会を開催します。

群馬県メンテナンス協議会では、報道関係者及び地方公共団体の職員を対象に、道路インフラの老朽化の現状や対策の重要性を理解していただくため、現場見学会を下記により開催します。

- 日 時：平成26年9月11日(木) 13:00～17:15
- 場 所：群馬県みなかみ町内の3橋梁
(うち、国管理1橋、みなかみ町管理2橋)
- 内 容：①高所作業車で橋梁に接近しメンテナンス状況を説明
高所作業車に乗車し実際の橋梁に接近した状態で点検方法や点検により発見された損傷の状況や補修内容等について説明。
- ②みなかみ町長から橋梁を管理する上での課題を説明
みなかみ町が管理する老朽橋梁および高速道路を跨ぐ橋梁を前に、これらの橋梁を管理する上で課題となる人材不足や厳しい財政等について町長が説明。

報道機関の皆様へ

- ・現場見学会に参加を希望される場合は、9月9日(火)17時までに、問い合わせ先に登録願います。なお、行程等は参考資料をご覧ください。

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ テレビ記者会
高崎記者クラブ

問い合わせ先

群馬県メンテナンス協議会事務局

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000(代)

副 所 長 伏見 利行 (ふしみ としゆき) 内線：204

計画課長 中嶋 政幸 (なかじま まさゆき) 内線：261

群馬県 県土整備部 道路管理課

住所：群馬県前橋市大千町一丁目1-1 電話：027-223-1111(代)

課 長 上原 幸彦 (うえはら ゆきひこ) 内線：3590

次 長 林 賢司 (はやし けんじ) 内線：3592

道路橋の点検計画について

地域一括発注状況内訳

No.	市町村名	橋梁数		H26年度定期点検一括発注分	
		2m以上	内15m以上	2m以上	内15m以上
1	前橋市	1,290	234	0	0
2	高崎市	1,511	236	0	0
3	桐生市	511	62	0	0
4	伊勢崎市	625	116	0	0
5	太田市	794	76	40	0
6	沼田市	310	81	0	0
7	館林市	369	55	0	0
8	渋川市	685	83	0	0
9	藤岡市	489	50	0	0
10	富岡市	479	87	0	0
11	安中市	639	139	0	0
12	みどり市	138	33	0	0
13	榛東村	151	13	0	0
14	吉岡町	138	28	0	0
15	上野村	158	47	0	0
16	神流町	124	29	0	0
17	下仁田町	219	60	0	0
18	南牧村	157	41	0	0
19	甘楽村	170	30	0	0
20	中之条町	265	90	0	0
21	長野原町	95	31	7	7
22	嬭恋村	106	33	0	0
23	草津町	14	3	0	0
24	高山村	98	15	0	0
25	東吾妻町	267	50	19	5
26	片品村	70	23	0	0
27	川場村	76	21	0	0
28	昭和村	164	22	0	0
29	みなかみ町	402	92	15	15
30	玉村町	109	27	0	0
31	板倉町	280	25	0	0
32	明和町	153	12	0	0
33	千代田町	124	10	21	0
34	大泉町	62	6	0	0
35	邑楽町	157	26	0	0
	合計	11,399	1,986	102	27

※数値は変動の可能性あります。

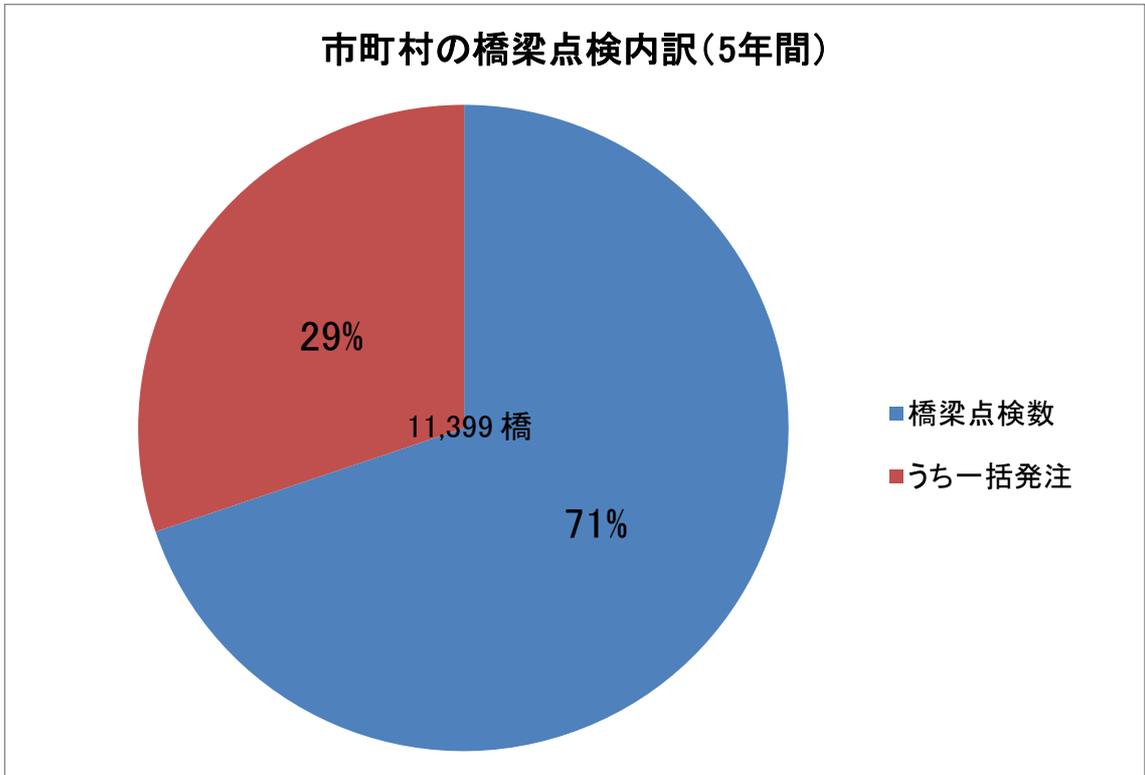
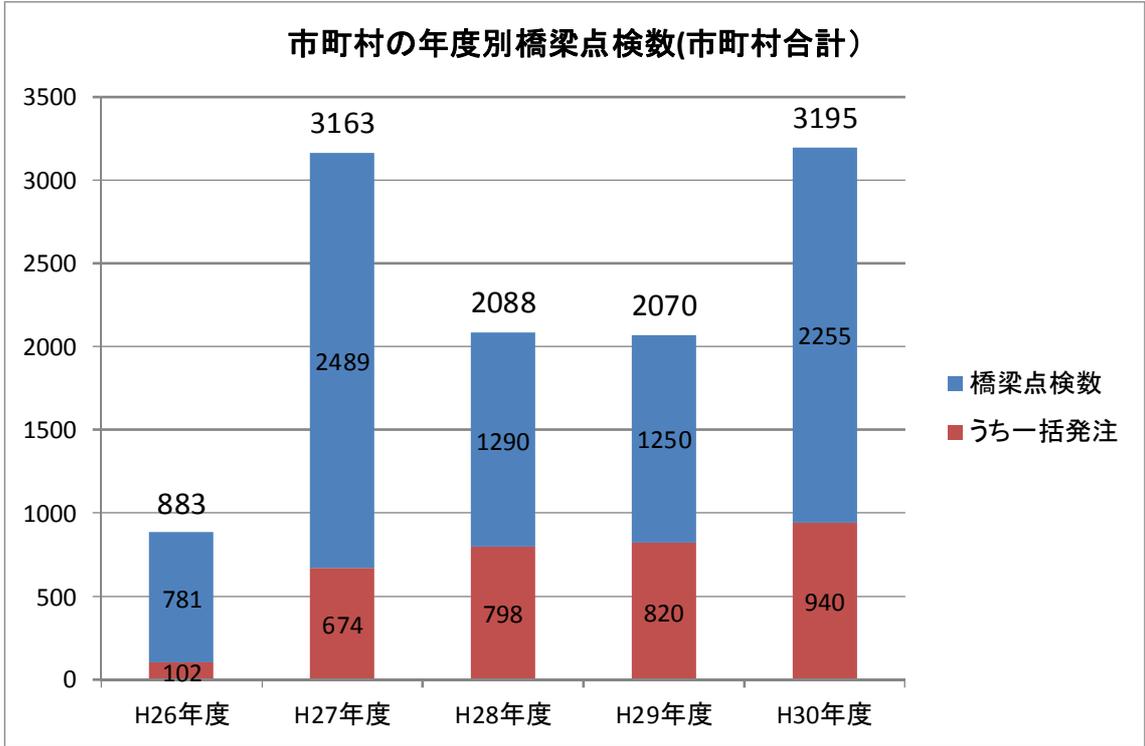
(H26.10.10現在)

市町村の道路橋点検計画数

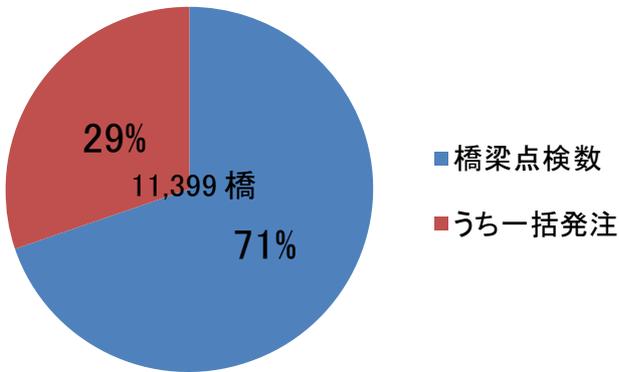
道路管理者名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
前橋市	85	1,155	8	4	38	1,290
高崎市	337	335	301	258	280	1,511
桐生市	0	139	153	103	116	511
伊勢崎市	27	208	135	113	142	625
太田市	40	174	209	185	186	794
沼田市	1	83	72	76	78	310
館林市	10	90	90	89	90	369
渋川市	5	3	15	59	603	685
藤岡市	5	121	121	121	121	489
富岡市	42	93	98	50	196	479
安中市	64	134	220	118	103	639
みどり市	0	9	14	14	101	138
榛東村	0	50	13	50	38	151
吉岡町	0	0	0	0	138	138
上野村	0	30	17	79	32	158
神流町	0	0	0	124	0	124
下仁田町	0	76	0	0	143	219
南牧村	0	20	21	53	63	157
甘楽村	0	45	32	47	46	170
中之条町	100	34	21	0	110	265
長野原町	7	18	22	21	27	95
嬭恋村	0	23	26	29	28	106
草津町	0	9	5	0	0	14
高山村	20	22	19	19	18	98
東吾妻町	19	59	62	68	59	267
片品村	0	0	23	47	0	70
川場村	0	20	1	55	0	76
昭和村	0	0	97	37	30	164
みなかみ町	15	56	131	100	100	402
玉村町	0	47	22	20	20	109
板倉町	50	67	62	59	42	280
明和町	0	20	48	47	38	153
千代田町	21	23	30	25	25	124
大泉町	0	0	0	0	62	62
邑楽町	35	0	0	0	122	157
市町村合計	883	3,163	2,088	2,070	3,195	11,399

※数値は変動の可能性があります。

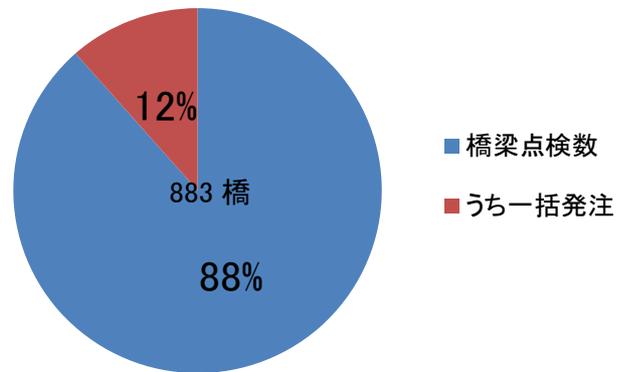
(H26.10.10現在)



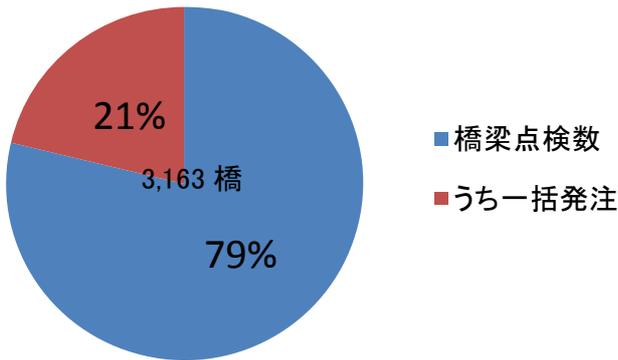
市町村の橋梁点検内訳(5年間)



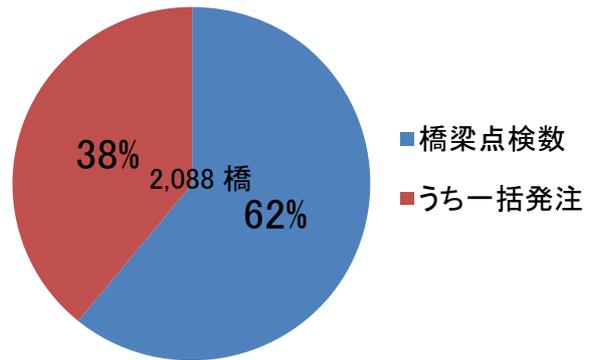
市町村の橋梁点検内訳(H26年度)



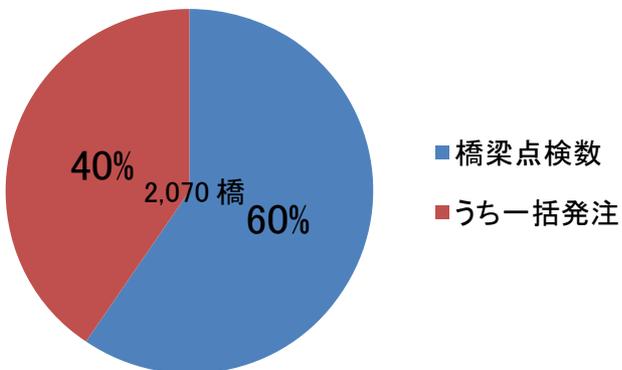
市町村の橋梁点検内訳(H27年度)



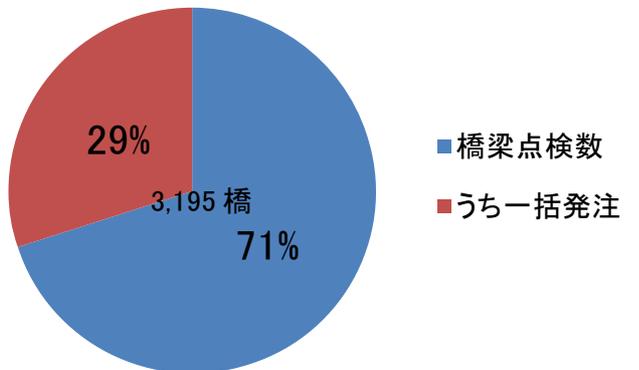
市町村の橋梁点検内訳(H28年度)



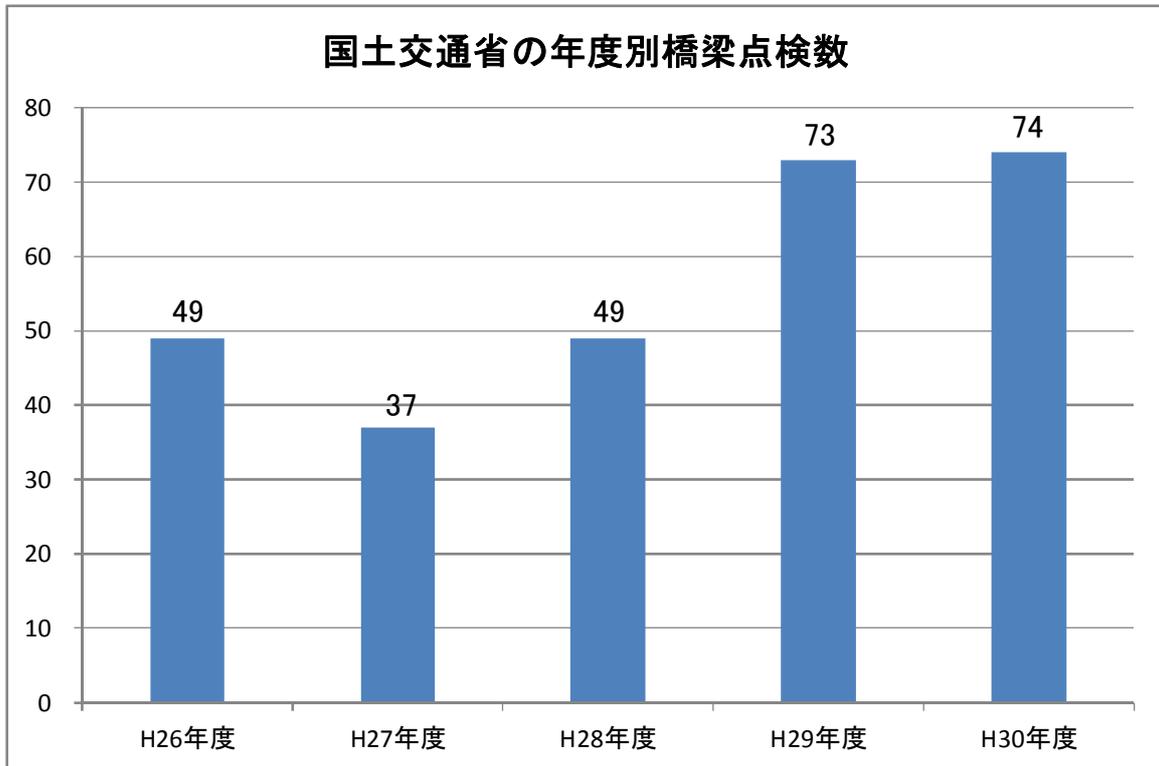
市町村の橋梁点検内訳(H29年度)



市町村の橋梁点検内訳(H30年度)



※参考



市町村の高速道路オーバブリッジ点検計画数

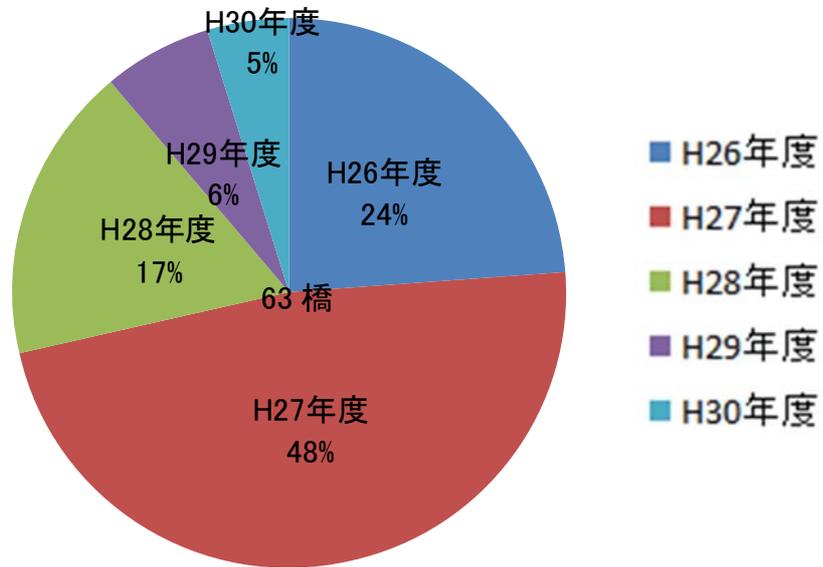
道路管理者名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
前橋市	0	0	0	0	0	0
高崎市	0	0	17	0	0	17
桐生市	0	0	0	0	0	0
伊勢崎市	0	0	0	0	0	0
太田市	0	0	0	0	0	0
沼田市	0	0	7	0	0	7
館林市	0	0	0	0	1	1
渋川市	0	0	8	9	7	24
藤岡市	0	1	0	0	0	1
富岡市	0	0	15	0	0	15
安中市	0	10	0	0	0	10
みどり市	0	0	0	0	0	0
榛東村	0	0	0	0	0	0
吉岡町	0	0	0	0	0	0
上野村	0	0	0	0	0	0
神流町	0	0	0	0	0	0
下仁田町	0	2	0	0	0	2
南牧村	0	0	0	0	0	0
甘楽村	0	0	9	0	0	9
中之条町	0	0	0	0	0	0
長野原町	0	0	0	0	0	0
嬭恋村	0	0	0	0	0	0
草津町	0	0	0	0	0	0
高山村	0	0	0	0	0	0
東吾妻町	0	0	0	0	0	0
片品村	0	0	0	0	0	0
川場村	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	13	0	0	13
みなかみ町	0	0	15	0	0	15
玉村町	0	0	0	0	0	0
板倉町	0	0	0	0	1	1
明和町	0	0	0	0	0	0
千代田町	0	0	0	0	0	0
大泉町	0	0	0	0	0	0
邑楽町	0	0	0	0	0	0
合計	0	13	84	9	9	115

※数値は変動の可能性があります。

(H26.10.10現在)

鉄道事業者との協議状況について

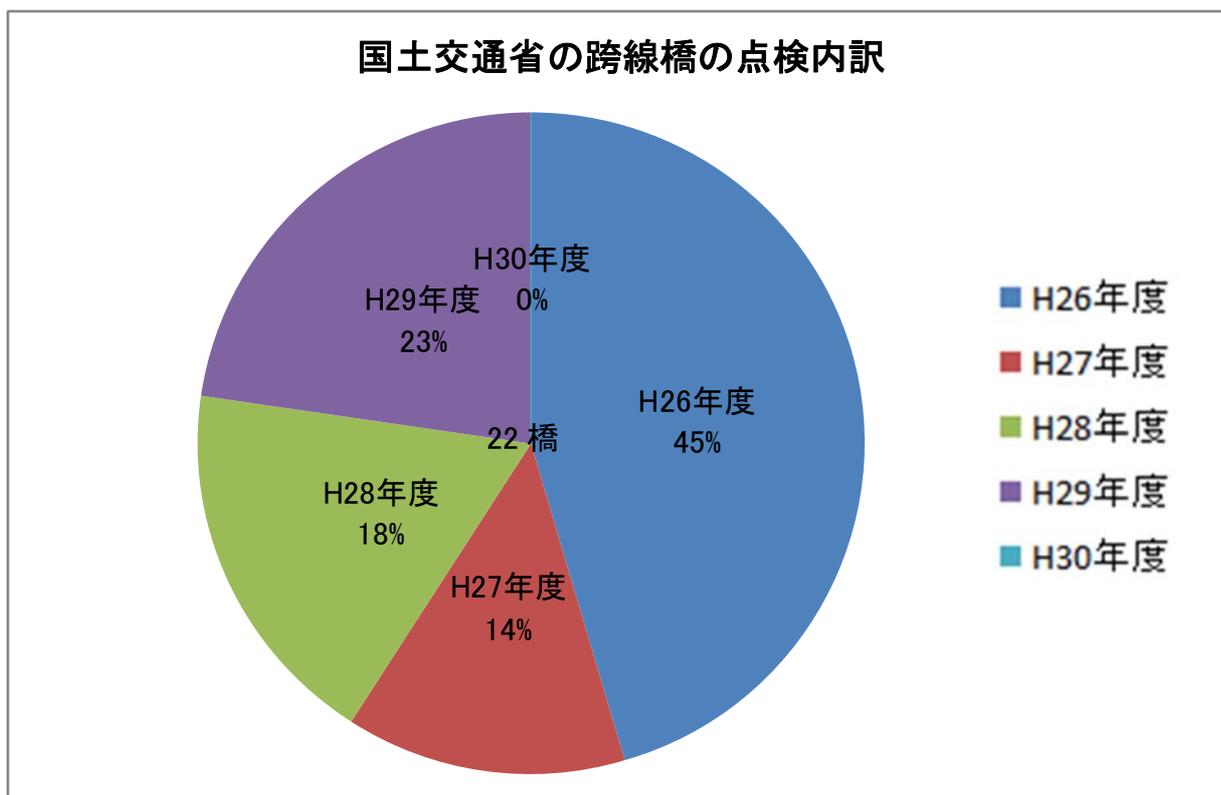
市町村の跨線橋の点検内訳



○鉄道事業者別の跨線橋数(市町村管理)

鉄道会社名	全跨線橋数
JR	50
東武鉄道	8
上信電鉄	1
わたらせ渓谷鉄道	4

※参考



○鉄道事業者別の跨線橋数(国土交通省管理)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
JR	8	1	3	5	0
東武鉄道	1	2	1	0	0
上毛電鉄	1	0	0	0	0

社会資本整備審議会道路分科会建議

道路の老朽化対策の本格実施
に関する提言

平成26年4月14日

社会資本整備審議会 道路分科会

道路の老朽化対策の本格実施に関する提言 概要

【1. 道路インフラを取り巻く現状】

(1) 道路インフラの現状

- 全橋梁約70万橋のうち約50万橋が市町村道
- 一部の構造物で老朽化による変状が顕在化
- 地方公共団体管理橋梁では、最近5年間で通行規制等が2倍以上に増加

(2) 老朽化対策の課題

- 直轄維持修繕予算は最近10年間で2割減少
- 町の約5割、村の約7割で橋梁保全業務に携わっている土木技術者が存在しない
- 地方公共団体では、遠望目視による点検も多く点検の質に課題

(3) 現状の総括(2つの根本的課題)

最低限のルール・基準が確立していない



メンテナンスサイクルを回す仕組みがない

【2. 国土交通省の取組みと目指すべき方向性】

(1) メンテナンス元年の取組み

本格的にメンテナンスサイクルを回すための取組みに着手

○道路法改正【H25.6】

- ・点検基準の法定化
- ・国による修繕等代行制度創設

○インフラ長寿命化基本計画の策定【H25.11】

- 『インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議』
⇒インフラ長寿命化計画（行動計画）の策定へ

(2) 目指すべき方向性

- ①メンテナンスサイクルを確定 ②メンテナンスサイクルを回す仕組みを構築

産学官のリソース(予算・人材・技術)を全て投入し、総力をあげて本格的なメンテナンスサイクルを始動【道路メンテナンス総力戦】

【3. 具体的な取組み】

(1) メンテナンスサイクルを確定(道路管理者の義務の明確化)

各道路管理者の責任で以下のメンテナンスサイクルを実施

[点検]

- 橋梁(約70万橋)・トンネル(約1万本)等は、国が定める統一的な基準により、5年に1度、近接目視による全数監視を実施
- 舗装、照明柱等は適切な更新年数を設定し点検・更新を実施

[診断]

- 統一的な尺度で健全度の判定区分を設定し、診断を実施
『道路インフラ健診』
(省令・告示：H26.3.31公布、同年7.1施行予定)

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

[措置]

- 点検・診断の結果に基づき計画的に修繕を実施し、必要な修繕ができない場合は、通行規制・通行止め
- 利用状況を踏まえ、橋梁等を集約化・撤去
- 適切な措置を講じない地方公共団体には国が勧告・指示
- 重大事故等の原因究明、再発防止策を検討する『道路インフラ安全委員会』を設置

[記録]

- 点検・診断・措置の結果をとりまとめ、評価・公表(見える化)

(2) メンテナンスサイクルを回す仕組みを構築

メンテナンスサイクルを持続的に回す以下の仕組みを構築

[予算]

- (高速) ○高速道路更新事業の財源確保 (通常国会に法改正案提出)
- (直轄) ○点検、修繕予算は最優先で確保
- (地方) ○複数年にわたり集中的に実施する大規模修繕・更新に対して支援する補助制度

[体制]

- 都道府県ごとに『道路メンテナンス会議』を設置
- メンテナンス業務の地域一括発注や複数年契約を実施
- 社会的に影響の大きな路線の施設等について、国の職員等から構成される『道路メンテナンス技術集団』による『直轄診断』を実施
- 重要性、緊急性の高い橋梁等は、必要に応じて、国や高速会社等が点検や修繕等を代行(跨道橋等)
- 地方公共団体の職員・民間企業の社員も対象とした研修の充実

[技術]

- 点検業務・修繕工事の適正な積算基準を設定
- 点検・診断の知識・技能・実務経験を有する技術者確保のための資格制度
- 産学官によるメンテナンス技術の戦略的な技術開発を推進

[国民の理解・協働]

- 老朽化の現状や対策について、国民の理解と協働の取組みを推進